

# 公衆衛生看護管理演習

[演習] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》 表山知里 [omote\_22@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 佐藤美由紀[sato\_m@hoku-iryo-u.ac.jp]  
 明野聖子 [naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

公衆衛生看護活動を管理の視点で捉え、事例検討やロールプレイなどの演習の積み重ねにより、公衆衛生看護管理の機能を発揮するための知識・技術を学修する。健康危機管理においては、住民の生活を守るための保健活動の質を保证する公衆衛生看護活動の展開に必要な支援方法を学修する。臨床実習、と関連付けて、地域の課題を解決するための事業の企画を通じて、施策化に必要な技術を得る。

## 【学修目標】

1. 地域のケアシステムや事業をアセスメントし、保健医療福祉サービスが効果的に機能しているか分析し、改善するための視点を身につける。
2. 健康危機管理（災害・感染症）において、住民の生活を守る保健活動の質を保证する方法や判断力を身につける。
3. 地域の健康課題を明確にし、課題を解決するための事業計画を立案し、関係する人々への交渉の方法を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	事例検討（公衆衛生看護管理）	乳幼児健診時のクレーム対応の事例を公衆衛生看護管理の視点で捉え、解決の方法について、ディスカッションを通じて検討する	表山、佐藤、明野
2	地域ケアシステムへのアプローチ	住民の生活を守るための保健活動として、地域ケアシステムの事例を用いてシステムをアセスメントする。ディスカッションを通じて、健康課題へのアプローチ方法の一つとしてケアシステムの構築方法を身につける	表山、佐藤、明野
3,4	災害時と公衆衛生看護活動（1）（2）	北海道版避難所運営ゲームを通じて、災害時の住民への公平なサービスの配分や二次的健康被害を予防するための視点を身につける	表山、佐藤、明野
5	災害時と公衆衛生看護活動（3）	災害を経験した保健師の話から、災害発生時、回復時、平常時の公衆衛生看護活動のあり方について、ディスカッションを通じて考察する	木村のみ子(特別講師) 表山
6	感染症と公衆衛生看護活動	感染症対策として実施する公衆衛生看護活動を理解し、地域の平常時の活動計画を作成する（住民への予防教育を含む）	表山、佐藤、明野
7	地域の課題を解決するための事業展開（1）	離島の1地域を事例として、健康危機管理の視点で地域の健康課題と解決を目指した公衆衛生看護活動を検討する	表山、佐藤、明野
8~11	地域の課題を解決するための事業展開（2）~（5）	離島の地域(現地)での演習を行う。現地で地区踏査を実施する。住民、保健師や自治体職員の話聞く。事前に検討した地域の課題と解決を目指した公衆衛生看護活動について、現地の実情を踏まえて再検討しディスカッションする	小川恵理子(特別講師) 表山、佐藤、明野
12	地域の課題を解決するための事業展開（6）	離島地域(現地)での演習の学びを資料にまとめ、報告とディスカッションを行う	表山、佐藤、明野
13,14	地域の課題を解決するための事業展開（7）（8）	臨地実習 で企画した事業案をプレゼンテーションし、ディスカッションする 事業目的、関係法令、内容、評価項目、推進方針、事業化のための関係する部署との交渉方法等	表山、佐藤、明野
15	地域の課題を解決するための事業展開（9）	臨地実習 で実施した事業案を改善し、修正案を作成する。修正した事業案をプレゼンテーションし、ディスカッションする	表山、佐藤、明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

参加状況・ディスカッション(30%)、プレゼンテーション及び作成資料、記録物(70%)によって総合的に評価する。

【教科書】

標美奈子：標準保健師講座 公衆衛生看護学概論, 医学書院

中谷芳美：標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院

佐伯和子編：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術, 医歯薬出版株式会社

【参考書】

適宜提示する。

【備考】

Google Classroomを用いて出席確認及び学修の理解の確認を行う。

【学修の方法】

1～6回は健康危機管理（災害・感染症）等を想定した事例を用いて、ロールプレイ及び学生間のディスカッションを行う。

7～12回は離島地域を事例として、事前アセスメント、現地へ赴いての演習、学びの報告とディスカッションを行う。

13～15回は、臨地実習 で企画した事業案をプレゼンテーションし、ディスカッションを行う。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

表山知里(保健師)

佐藤美由紀(保健師)

明野聖子(保健師)